許可申請のチェックリスト【中間検査・定期報告】

凡例

◎:必要(省令で定められた図書等) △:場合により必要
○:必要(県細則等で定められた図書等) -:不要

書類・図面の名称 (様式)	中間検査		定期報告		明示すべき事項	原本の必要	チェック
	形質の変更	土石の堆積	形質の変更	土石の堆積			
全般(共通事項)	○		○	○	<p>申請等にかかる補正は、電子(メール等)による対応も可とする。 中間検査合格証は、原本(書面)で交付するため、郵送を希望する場合は、別途、返信用封筒を送付すること。 手数料の納付を確認した日を“受付日”として扱う。(定期報告を除く。)</p> <p>【申請方法】 ◆書面の場合 ・必要部数:2部(正副:副は返却用) ・書類等はファイル等に綴じ、インデックスをつけること。 ◆電子の場合※ ・PDF形式を基本とし、書類等の名称とファイル名称が整合していること。 ※原本(書面)の提出を求める書類等があるので注意してください。(当リスト「原本の必要」の欄を参照のこと。)</p> <p>【手数料の納付】 ◆滋賀県収入証紙(令和7年度末まで利用可能)※ ◆キャッシュレス決済(クレジットカード、二次元コード、電子マネー) ※現金納付(金融機関、コンビニでの納付書支払い)に対応予定</p>		□
書類1	申請書等						
宅地造成又は特定盛土等に関する工事の中間検査申請書(様式第十三)	◎				<p>・特定工程にかかる工事完了から4日以内に申請すること。 ・宛先を「滋賀県知事《知事名》」と記入すること。 ・工事主(申請者)の押印は求めない。 ※手数料を滋賀県収入証紙で納付する場合、申請書の裏面に証紙を貼り付け、原本を提出すること。(住宅課でキャッシュレス決済により納付を行った場合はこの限りではない。) ・該当条項を黒枠で明示すること。(規制区域の種別を確認すること。) ◇宅地造成等工事規制区域:第18条第1項、第19条第1項 ◇特定盛土等規制区域:第37条第1項、第38条第1項</p> <p><土地の所在地及び地番> ・すべての地番を記入すること。 なお、欄が足りない場合は、代表地番の後に「外○筆」と記載すること。(別紙の添付は求めない。)</p>	要※収入証紙を貼付した場合	□
宅地造成または特定盛土等に関する工事の定期報告書(様式第8号) または 土石の堆積に関する工事の定期報告書(様式第9号)			○	○	<p>・工事着手後、3か月ごとに報告(該当月の7日までに)すること。 ・宛先を「滋賀県知事《知事名》」と記入すること。 ・工事主(報告者)の押印は求めない。</p>		□
書類2 委任状(任意様式)	△		△	△	<p>・代理人による申請の場合に添付すること。(当初の申請時に添付の委任状に当該手続きに関する記載があった場合を除く。) 【当初申請と同様】</p>		□

書類・図面の名称 (様式)		中間検査		定期報告		明示すべき事項	原本の必要	チェック
		形質の変更	土石の堆積	形質の変更	土石の堆積			
書類 3	工程表 (任意様式)	-	/	○	○	・工事期間全体における現在(報告)時点を示すこと。		☐
書類 4	現況写真 (任意様式)	-	/	◎	◎	【中間検査】 ・検査対象(暗渠排水管)の設置状況等がわかるもの。 【定期報告】 ・報告の時点における盛土または切土をしている土地およびその付近の状況ならびに報告書の7欄から10欄までの状況を明らかにする写真を添付すること。		☐
図面 1	土地の平面図 (造形計画平面図)	○	/	○	○	【中間検査】 ・検査対象を示すこと。 【定期報告】 ・報告対象を示すこと。		☐
その他	その他知事が 必要と認める 書類・図面 (任意様式)	○	/	○	○	【共通】 ・必要と判断した場合に添付を求めることがある。 【中間検査】 ・現地にて検寸等を行うために必要な書類等を添付すること。		☐